

豊洲 新市場

予定地

都の調査で判明

基準こすベンゼン・ヒ素



日本共産党東京都議団二ユース

大山とも子
だより

10月11日
NO. 316

発行

日本共産党都議団

控室 電話(5320)7270
FAX(5388)1790

都の汚染対策の欠陥は、もはやあきらか

「食」の安全は最優先

東京都は9月29日、築地市場の移転先とする豊洲新市場予定地の地下水から、環境基準を超える濃度のベンゼンとヒ素が検出されたと発表しました。

基準を上回ったのは、青果棟施設がある5街区の3ヶ所。ベンゼン（環境基準は水1ℓ中0.01 μ g）は基準の1.4倍の0.014 μ g、同0.011 μ g、ヒ素（同0.01 μ g）は同1.9倍の0.019 μ gが検出されました。豊洲新市場の予定地は東京ガスの工場跡地であり、長年にわたる操業で、土壌はシアン化合物やベンゼン、六価クロム、ヒ素などによって汚染されていました。日本共産党都議団は、石原元知事が移転を表明した2001年の最初の時から、このようなところに生鮮市場をつくるべきでないと強く主張し、追及してきました。



▲都の発表を報道するNHK テレビより

移転中止の検討を

都のこれまでの土壌汚染対策では、地下の土壌汚染物質が取り除かれていないことが今回の検査で示されました。盛り土された部分さえも、地下水によって再汚染されている可能性があります。

共産党都議団の調査で判明した地下空間（盛り土が行われていなかった）問題をはじめ、都の汚染対策の欠陥は、もはや明らかです。

このようなところに生鮮食品を扱う中央卸売市場を設置すべきではありません。都は、徹底調査と検証を行い、移転中止に向けた本格的な検討をすすめるべきです。

都議会議員（新宿区選出）

大山とも子

おおやまともこ

連絡先

大山とも子事務所

電話(3357)3818 FAX(3353)4912
新宿区住吉町11-25 ●ご意見ご要望をお寄せください

五輪3施設を見直しへ

経費の削減を

都民の声が動かす

共産党都議団も返り提案

東京都の小池知事は9月29日、東京五輪開催経費を検証している調査チームの報告を受け、都が建設する三つの恒久施設について抜本的な見直しを検討する考えを示しました。五輪経費の削減は都民の強い世論です。日本共産党都議団もくり返し削減を提案してきました。築地市場移転延期に続き、都民の声が都政を動かしました。

三つの施設とは、①海の森水上競技場（上図。ボート、カヌー、整備費491億円）、②アクアティクスセンター（水泳、同683億円）、③有明アリーナ（バレーボール、車いすバスケットボール、同404億円）です。いずれも席数などの過大な仕様や、大会後の利用計画の不十分さが問題となっています。



▶海の森水上競技場の完成イメージ図（都のホームページより）

日本共産党都議団は、3施設について一貫して既存施設の利用を含めた見直しを求めています。9月26日にも海の森水上競技場計画について

- ①水上競技場としては最悪の立地。491億円を投入しても公平で安全なレース環境の保証はない
- ②高額な維持管理費で大会後も都民負担の危険
- ③入札は1グループのみで、落札率が99.999%。「談合の疑い」が濃厚等の問題点を指摘し、別の場所に変更するよう知事に申し入れました（下写真）。



▲申し入れた提案を記者会見で説明する都議団

都民が納得できる五輪の成功へ全力

見直しが始まったのは重要な前進です。一方、報告書には、組織委員会が負担するべき仮設競技場の整備費用を、都が全額負担するなど、逆に都民負担につながる内容もあります。

都民の福祉充実やくらしを守ることに両立し、都民が納得できる五輪の成功へ全力をあげます。



大山とも子

都議会議員（新宿区選出）
おやま・ともこ